

東芝レンジフードファン取付説明書

形 **VKH-60Vタイプ,VKH-75Vタイプ,**
名 **VKH-90Vタイプ**

日本国内専用品
Use only in Japan

- このレンジフードファンの注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくために、この取付説明書をよくお読みください。(形名により図が一部異なります。)
- この取付説明書は工事完了後、お客さまで保管いただくように依頼してください。
- 別売部品をご利用ください。(詳しくは、カタログをご覧ください。)
- 記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表 示	表示の意味
	警告 “取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定される内容”を示します。
	注意 “取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定される内容”を示します。

＊１:重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊２:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊３:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号	図記号の意味
	禁止 〇は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	指示 ●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

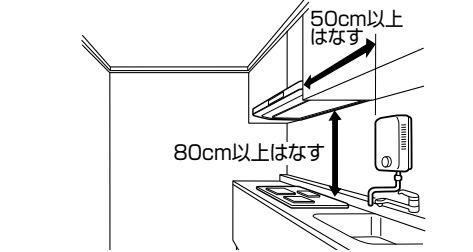
- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この取付説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管いただくように依頼してください。

警告			
	改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。		煙突排気の燃焼器具がある住宅に据え付けるときは、十分な大きな空気取り入れ口を別につける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
	修理技術者以外の人は分解、修理(※)をしない 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理は、お買上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。		電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災・感電の原因になります。
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に、金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付ける 漏電したとき、火災・感電の原因になります。		電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 火災・感電の原因になります。
	内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。		電源コードはゆとりを持たせ、電源プラグに力がかからないようにする また、つっぱらないようにゆとりを持たせて配線する 火災・感電の原因になります。
	電源は交流100Vを使う 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。		包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に廃棄または保管する 頭からかぶるなどすると、口や、鼻をふさぎ窒息する原因になります。

注意			
	前板、フィルターや部品は確実に取り付け 落下により、けがの原因になります。		浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない 感電および故障の原因になります。
	強度のある場所に、確実に取り付け 落下により、けがの原因になります。		運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない けがの原因になります。
	電気工事は、電気工士(※)が行う 電気工士以外の人が工事すると、火災・感電・けがの原因になります。 ※電気工士への依頼は、お買上げの販売店、または電気工事店にご相談ください。		取り付けのときは、手袋を着用する 手袋を着用しないと、けがの原因になります。
			指定以外のランプを使わない ランプカバー周辺が高温になり、やけどの原因になります。

お願い

- ガスレンジの真上、80cm以上に取り付けてください。
火災予防条例では、80cm以上が必要です。

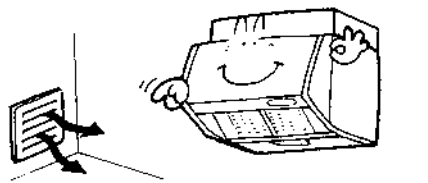


- 湯沸器は、50cm以上横に離して取り付けてください。
50cm以下ですと、高温により故障の原因になります。
- 取付工事は地域により、防災上での制限があります。
関連法規に従って施工してください。
詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください。

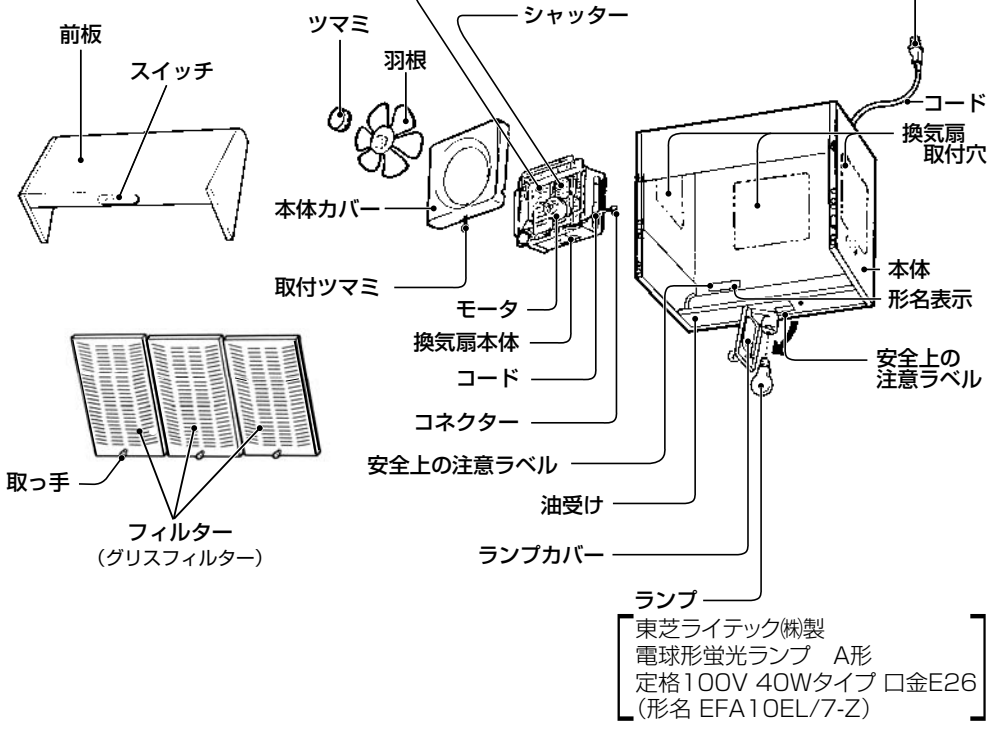
- 取付工事は手袋をして行ってください。
- 周囲温度が40℃以上になる場所、薬品を使う場所には取り付けないでください。
故障の原因になります。

- 全体換気の必要な所は、他の換気扇との併用をおすすめします。

- 効率よく排気させるため空気の入出口を部屋の反対位置に設けてください。



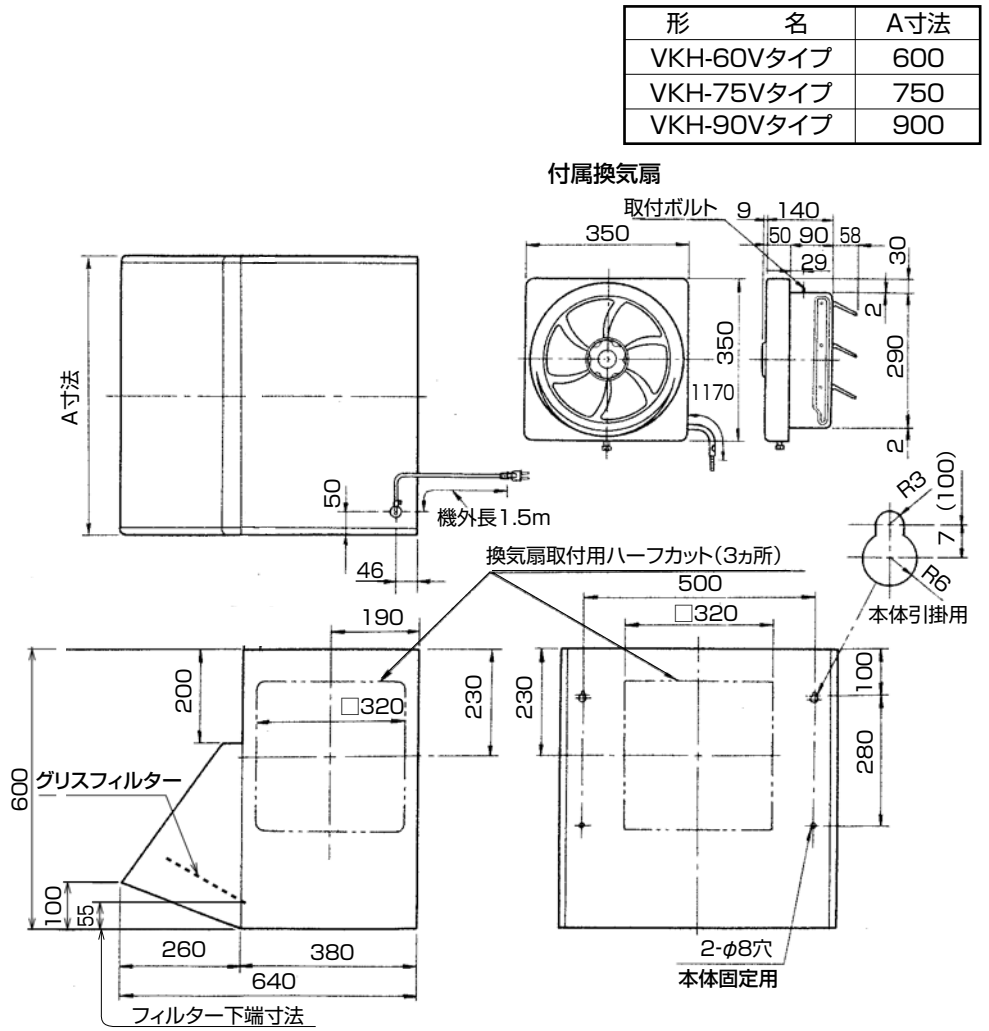
各部のなまえ



付属品

木ねじ(4本)
本体固定用

製品寸法図



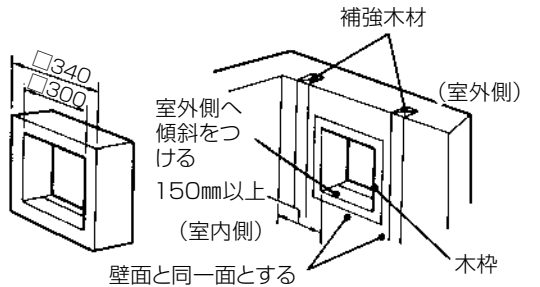
取付方法

取り付け前の準備

- (1) 製品寸法図を参照して、壁穴をあけてください。
- (2) 換気扇取付用木枠を壁面に固定します。

木枠の大きさは右図のように作ってください。

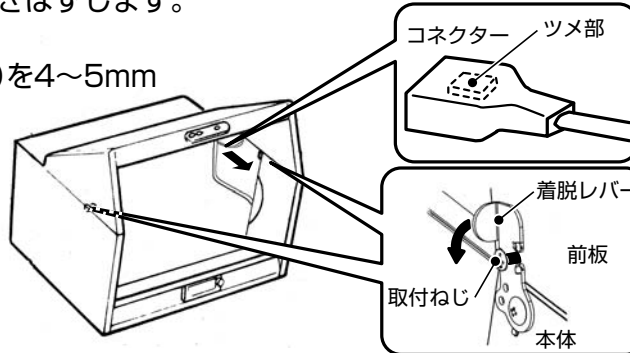
換気扇取付用木枠は別売しています。ご利用ください。



前板のはずし方

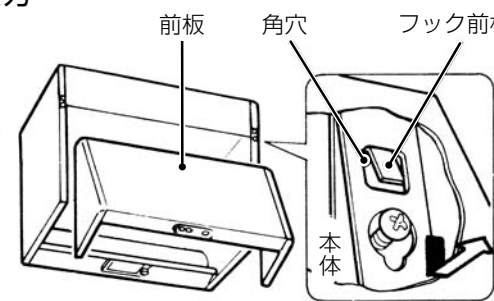
- (1) コネクターをはずします。ツメ部を押しながら手前に引きはずします。

- (2) 取付ねじ(左右2カ所)を4～5mmもどします。



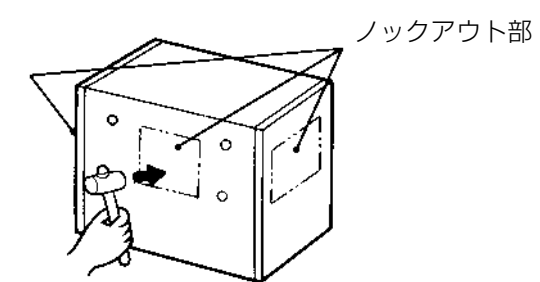
- (3) 着脱レバー(左右2カ所)を後方へ回します。

- (4) 前板を少し下げ、角穴をフックよりはずし、前へ引いてはずします。



排気穴をあける

排気方向のノックアウト部をハンマーで打ち抜きます。



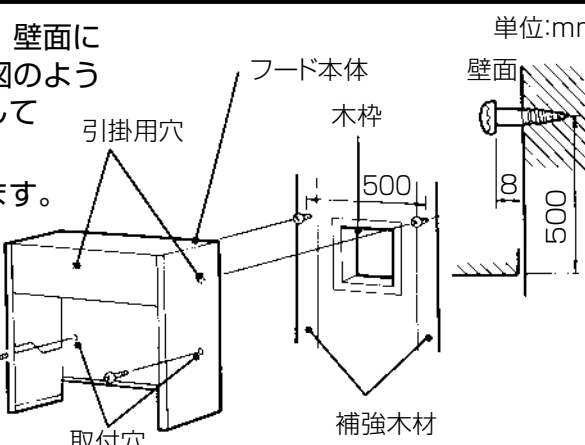
本体の取り付け方

取り付けの前に、取付部の強度をお確かめください。取付部が弱いと落下、騒音の原因になります。

- (1) 製品寸法図を参照して、壁面に付属の木ねじ(2本)を図のように8mm締め付けを残して仮止めします。

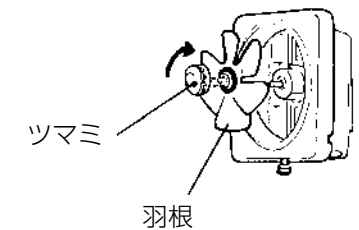
- (2) 本体を木ねじに引掛けます。

- (3) 本体内側より付属の座付き木ねじ(2本)を締め付け固定します。



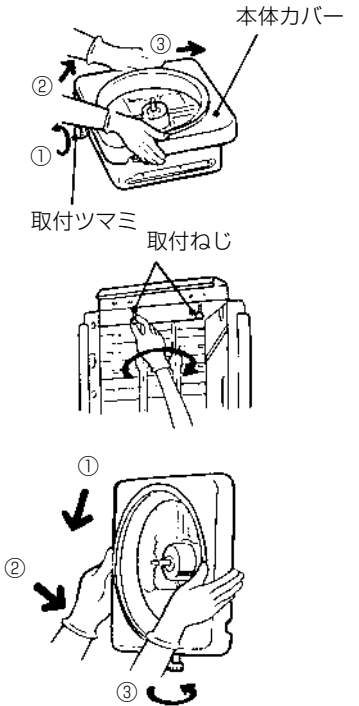
換気扇の取り付け方

- (1) 換気扇本体から羽根をはずします。
ツマミは“ゆるむ”の方向にまわします。



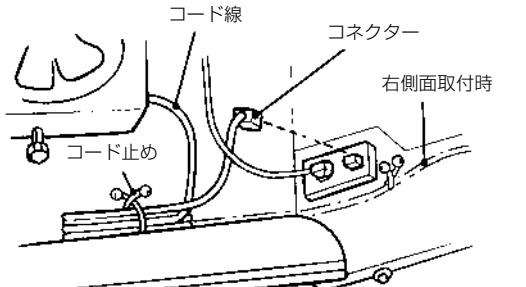
- (2) 取付ツマミを左へまわしてゆるめ。本体カバーをはずします。
 - ① 取付ツマミをゆるめます。(5～6回)
 - ② 手前に引きます。
 - ③ 換気扇本体よりはずします。
- (3) 換気扇本体をフード本体内側より、木枠にはめ込み取り付けます。
- (4) 取付ねじ(2個)を、ガタのないよう確実に締め付けます。
フード本体との間に、すき間がでないように取り付けてください。

- (5) 本体カバーを、換気扇本体に確実にはめ込んでください。
(2) 項と逆の順序で行います。
- (6) 羽根とツマミを取り付けます。



コネクターの接続・コード線の処理

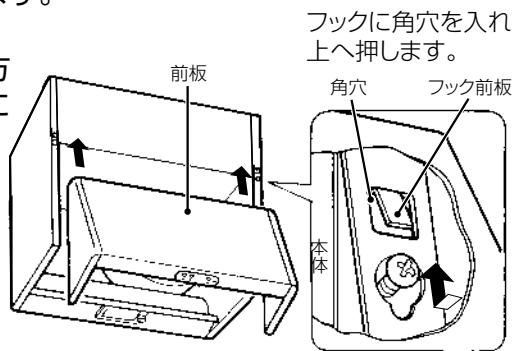
- (1) コネクターを接続します。
- (2) コード線がたるまないようたばねて、コード止めで固定します。



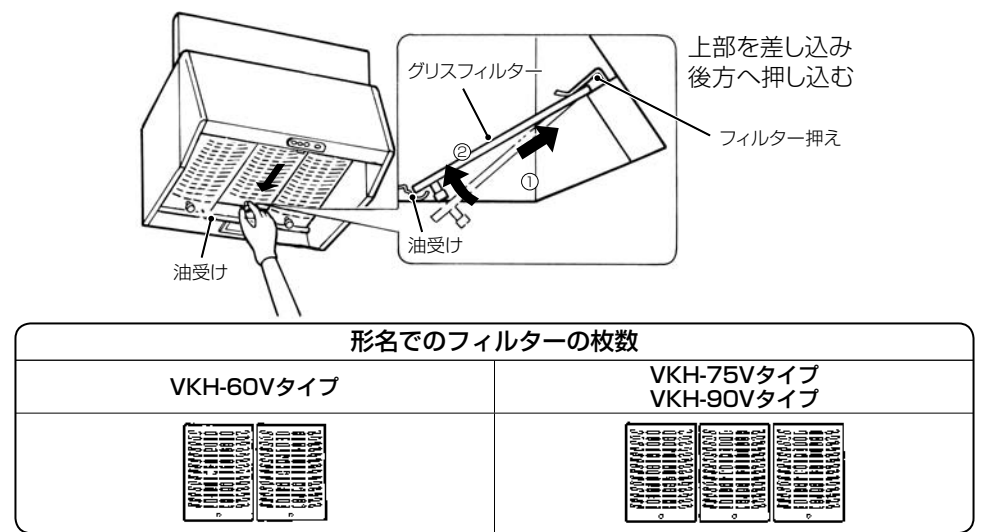
前板の取り付け方

前板のはずし方と逆の順序で行ってください。

- (1) 前板の上部を本体へ差し込みます。
- (2) 前板を、前へ押し固定します。
- (3) 着脱レバー(左右2カ所)を前方に回し、取付ねじを確実に溝に入れます。
- (4) 取付ねじ(左右2カ所)をドライバで締め付けて固定します。
- (5) コネクターを取り付けます。
- (6) 手元へ、軽く引っ張り、前板が確実に固定されているか確かめます。



グリスフィルターの取り付け方



電源の接続

電源プラグをコンセントに差し込みます。

試運転

以上で取り付け完了です。

次の点検を行い、異常がないか確認してください。

- 製品の取付強度が十分なこと
- 運転したとき異常音、異常振動がないこと
- シャッターの開閉が正常なこと